

# ナラ枯れの実態と対策について

## ナラ枯れから大切な森林を守るための取り組み

### 【背景・目的】

ナラ枯れは、ブナ科の樹木（ブナ、イヌブナを除く）で発症し、枯死することもある木の病気で、カシノナガキクイムシ（カシナガ）が伝播する *Raffaelea quercivora*（通称「ナラ菌」）によって引き起こされる。

県内では2009年に県北部で初めて発症が確認され、2021年には13市町村で確認されている。

今後、被害がさらに広がること懸念される。

ブナ科の樹木は、山だけではなく、公園や寺社など、身近なところにもたくさんあり、住民の生活の一部にもなっているこれらの木を保全するための方法を検討している。

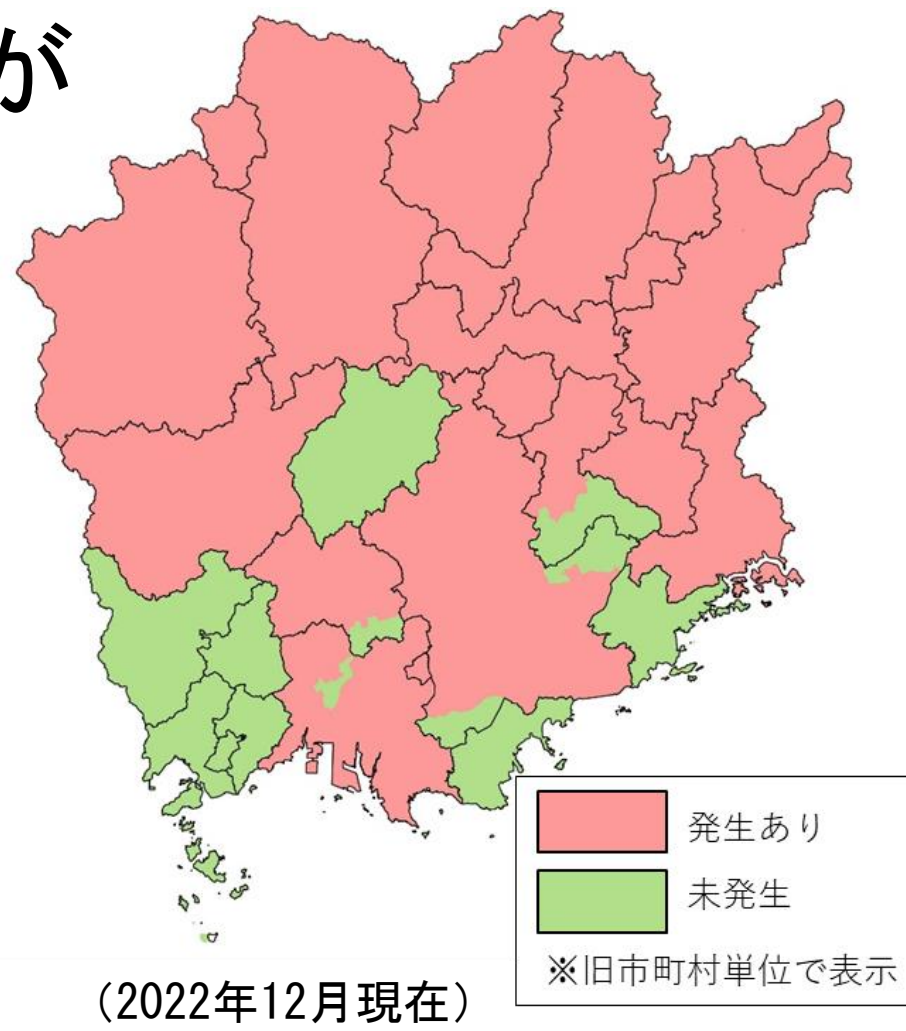


図2 ナラ枯れ発生状況

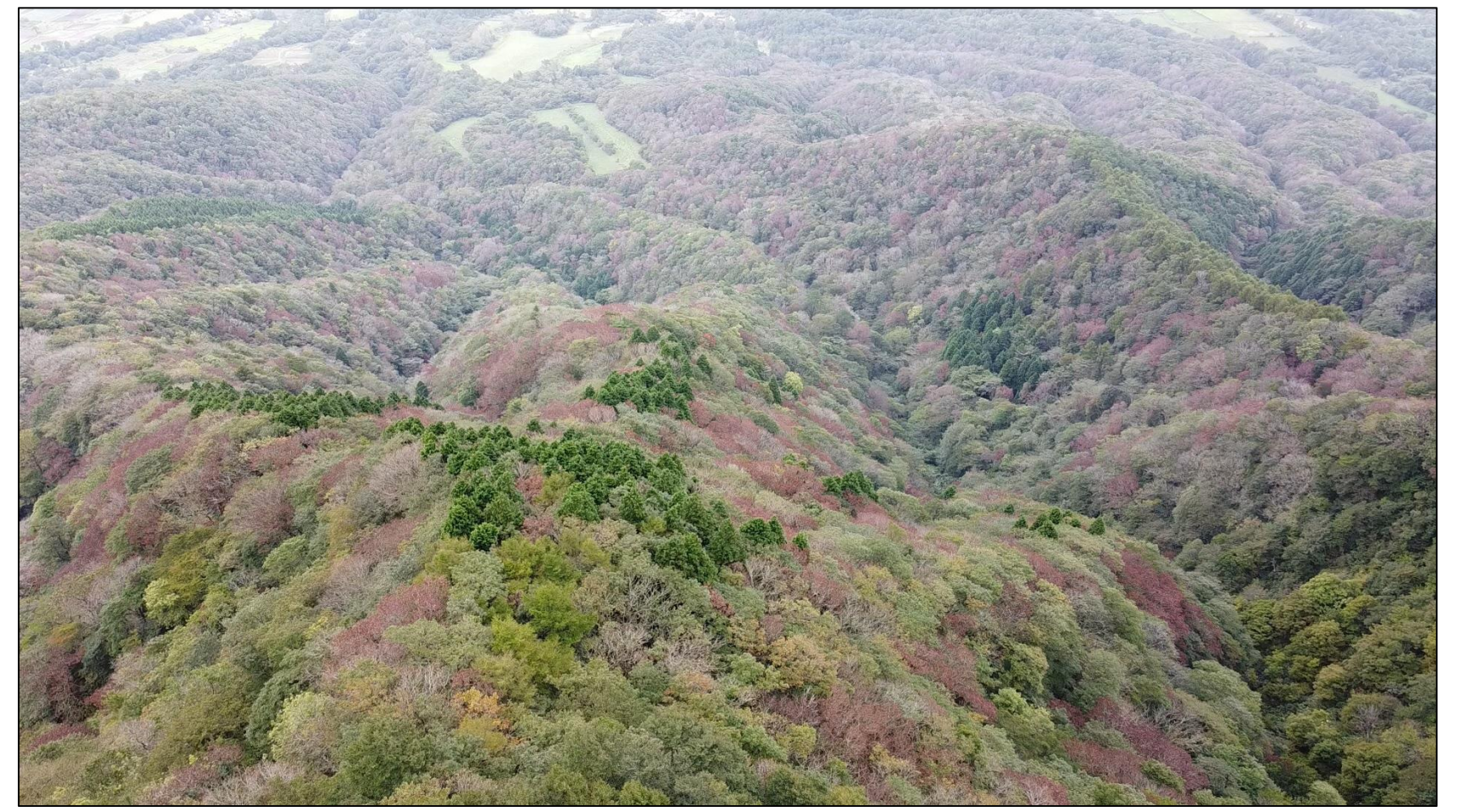


図1 ナラ枯れ（真庭市蒜山地域）

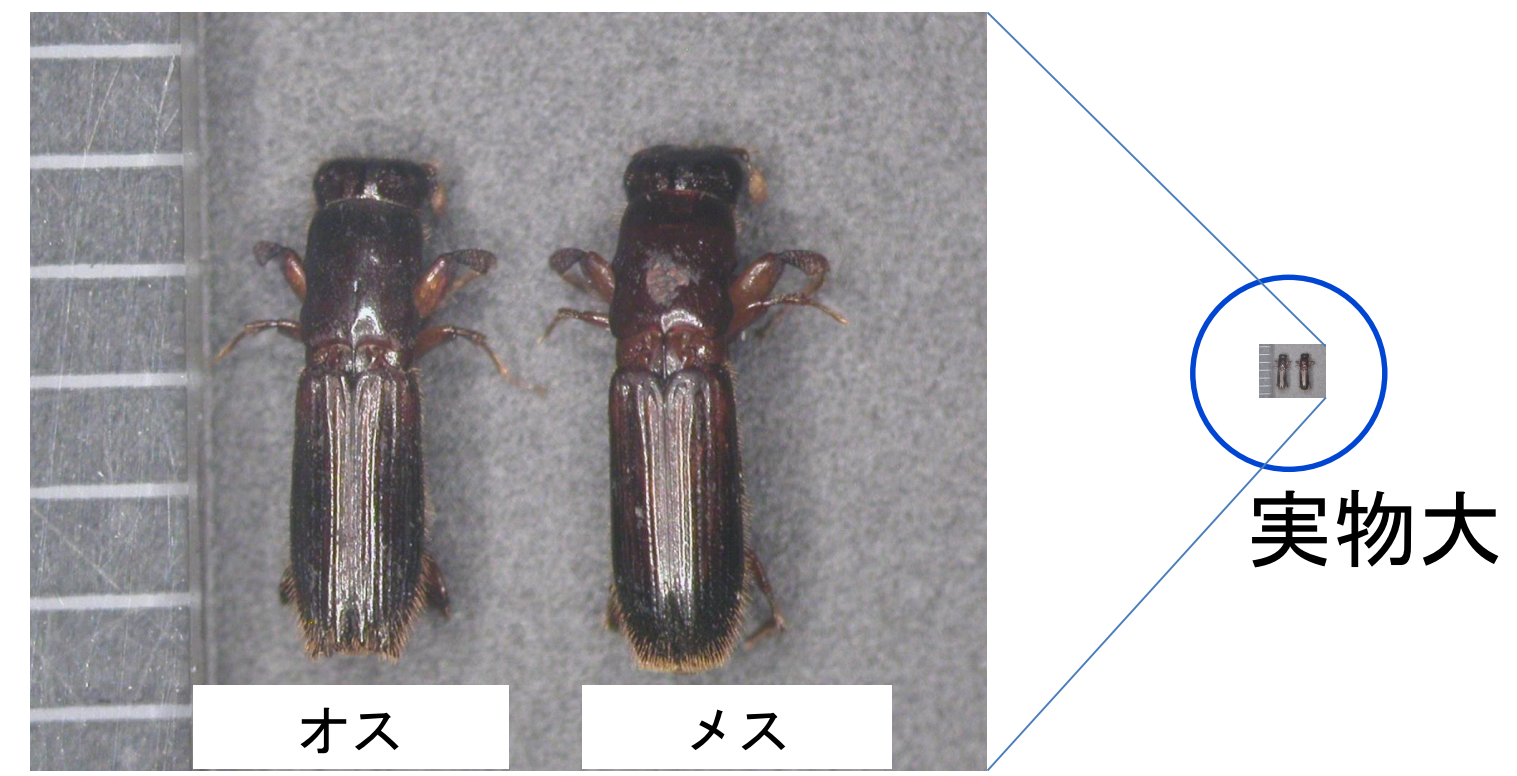


図3 カシノナガキクイムシ

### 【成果の内容】

#### ○ 誘引捕殺資材を使ったナラ枯れに強い森への転換方法の検討

ナラ枯れは、カシナガが大量に発生し、木に穿孔して引き起こされるため、いったん被害が広がると根絶は難しい。一方、カシナガに穿孔されても枯れずに生き残り、樹体内にフェノールなどの成分を蓄積した木（穿入生存木）は、その後、ナラ枯れに強い木の性質を持つようになるとされている。

このことを利用して、保全したい森の木を、穿入生存木にすることによって、木や森をナラ枯れから守る方法を検討した。2年間誘引捕殺資材を林内に設置したところ、枯死の発生数を抑えつつ、8割以上の木を穿入生存木にすることができた。

ナラ枯れは、発生してから被害が落ち着くまでに5年程度かかるといわれており、短期間でナラ枯れに強い森に転換できたと考えられる。



図4 誘引捕殺資材

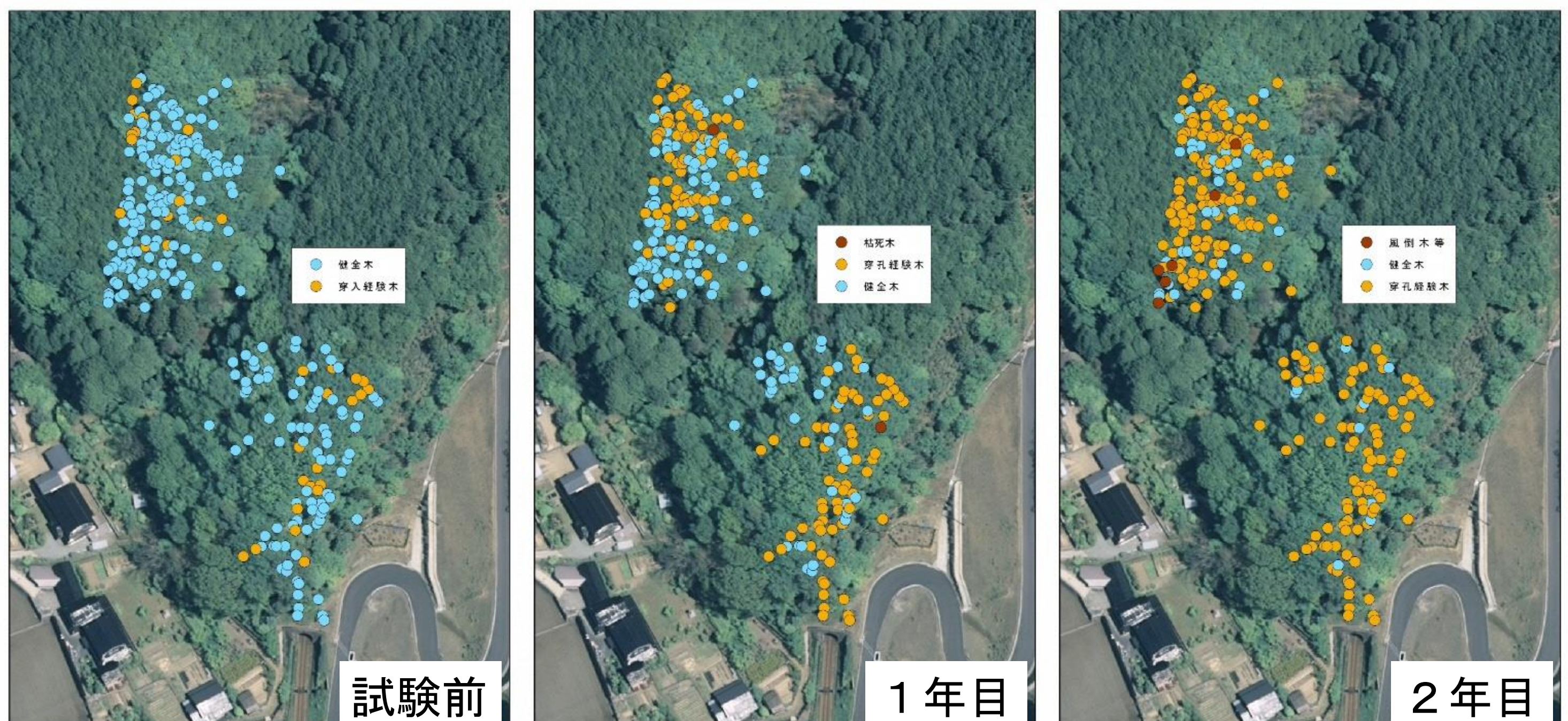


図5 ナラ枯れに強い木（穿入生存木）への転換

お問い合わせ先

岡山県農林水産総合センター  
勝田郡勝央町植月中1001

森林研究所

TEL. 0868-38-3151